



ニクス・ダイジエスTNAHA

那覇空港駅を後にして、国道331号沿いに右に曲がり、しばらくいくと右手に那覇市伝統工芸館が見えてきます。そこを過ぎてほぼ直角に大きく左折すると見えてきたのは赤嶺駅。

大きな交通広場が整備され、糸満市や豊見城市などからの利用者が路線バスやタクシーからスムーズにモノレールへ乗り継ぐことができ、自転車置き場も設置されています。

日本最南端の鉄道「ゆいレール」の開通で、赤嶺駅は日本最南端の駅となりました。これまで最南端だったJR指宿枕崎線の西大山駅(鹿児島県山川町)に設置されている記念碑は「本土最南端の駅」に書き換えられたのです。

ちなみに那覇空港駅は日本最西端の駅となりました。

駅周辺は市営住宅や県営住宅、レンタカー会社、ホームセンターやファーマー



安全走行を見守る「安全嶺シーサー」

ストリート店が立ち並び、商業地として発展しつつある地域といえます。駅の近くにある「安全嶺アシミネシーサー」を探しに散策してみました。駅から少し歩いて、国道331号沿いの航空隊前のバス停留所そばの石段を登ると、「安全嶺の御嶽(ウタキ)」の一面に石彫りの「安全嶺シーサー」が円筒の白い石台に鎮座しています。愛らしく、親しみの持てる面持ちはまるでアニメのキャラクターのようです。

第33回 **那覇まつり**
平成15年10月11日(土)～13日(月)

11日(土)16時～ 市民演芸・民俗伝統芸能パレード 国際通り
12日(日)12時～ 旗頭行列・大綱挽 国際通り・国道58号
11日(土)～13日(月)11時～ 那覇まつり市民フェスティバル
なは商工フェア ※11日は13時～

お問い合わせ 観光課 ☎862-3276 観光協会 ☎862-1442



第38回 首里文化祭

「首里地区小学校ちびっ子相撲大会」
10月13日(月)13:00～17:00
城南小学校体育館

「伝統芸能」
11月1日(土)14:30～15:30
11月2日(日)14:30～15:30
首里城正殿下之御庭

美ら言葉・島言葉「方言お話大会」
11月2日(日)13:00～17:00
首里公民館大ホール

「演芸のタベ」
11月2日(日)18:30～21:00
首里農協ホール

お問い合わせ 首里文化祭実行委員会 ☎886-5547

首里文化祭「ストリートフェスタ」
11月3日(月)17:00～20:00
首里龍潭通り(万松院入口～芸大入口)

「円覚寺の鐘を鳴らそう」
11月3日(月)18:00～19:00
県立博物館敷地内

各町「旗頭・獅子舞演舞」
11月3日(月)18:10～19:30
首里龍潭通り(楠見薬局前～万松院入口)

仕掛け花火
11月3日(月)20:00～20:30
首里城公園 龍潭



メキシコの熱い風を那覇に 陽気な伝統音楽を紹介

9月18日(木)、市役所本庁の中庭でメキシコの伝統音楽「マリアッチ」のミニライブが行われました。彼らは酒場や街角を渡り歩きながら演奏を続ける陽気なバンドです。

今回は、今年12月9日に那覇市民会館をはじめ、各地での公演にさきがけ、みなさんに紹介するために来沖しました。

コンサートでは、約20名の演奏者と情熱的なバイレ(ダンス)も紹介するというので、さらに熱い演奏が期待できそうです。



母子の自立と地域の子育てを支援 母子生活支援センター「さくら」開所

母と子の自立を手助けする、那覇市母子生活支援センター「さくら」(首里鳥堀町)が8月29日に開所。翁長市長をはじめ、関係者らによってテープカットが行われました。同センターは入所した母と子の生活や就労の支援などを行うだけでなく、地域の子育て支援として、乳幼児健康支援一時預かり、短期入所生活援助、子育てや家庭の相談なども行います。翁長市長は「多様化した母子の状況を支援する施設の誕生は市民の望む福祉行政への大きな前進です」と開所を祝いました。

「地域をつなぐ広報メディア 創りたいもの、残したいもの」美ら島からの提案」をテーマに第40回全国広報広聴研究大会が9月11日・12日の二日間、県女性総合センター「ていりる」で開催されました。大会顧問の翁長市長は「ここ沖縄・那覇の地での活発な意見交換とおし、真に創り出したものの、残していきたいものを、それぞれの地域の中で模索してください」とあいさつ。大会では記念講演やシンポジウムなどが行われ、より効果的な広報について考えました。



地域をつなぐ、効果的な広報を 那覇市で「全国広報広聴研究大会」開催



現場の応急処置が命を救う 市消防本部が「救急フェア」開催

救急医療への理解を深め、医療関係者の意識を高めようと、9月9日、パレットくもじ前イベント広場で救急フェアが開催されました。訪れた市民や当銘収入役、松永みづゑ一日救急隊長(沖縄赤十字病院看護部長)ら関係者を前に国場、松尾、安謝、首里、小緑の各救急隊が救急救命処置の訓練を公開。つづいて、救急隊員が会場の市民に心肺蘇生法や止血法などの応急手当を指導、参加者らは救急車が到着するまでの早めの処置が救命につながることを実技を通して学びました。

ニクス・ダイジエスTNAHA